

次期人口ビジョン（素案）について



- 1 次期人口ビジョン（素案）の概要
- 2 次期人口ビジョン（素案）の構成
- 3 人口の将来展望における短・中期目標について

1 次期人口ビジョン（素案）の概要

○名称

館林市人口ビジョン（令和7年度改訂版）

○推計期間

2070年（令和52年）まで

○ 次期人口ビジョンの構成

第1章 基本的な考え方

- 1 策定の目的
- 2 位置づけ
- 3 対象期間

第2章 人口動向分析

- 1 人口の推移
- 2 人口増減等の推移
- 3 就業人口等の推移

第3章 将来人口推計

- 1 将来人口推計
- 2 館林市独自の人口推計
- 3 人口の将来展望

○ 構成の概要①

第1章 基本的な考え方

人口ビジョン策定の「目的」や「位置づけ」、「対象期間」を記載

第2章 人口動向分析

・国提供データ等を基に、「総人口」、「年齢3区分別人口」、さらには「外国人人口」等の視点から、これまでの人口の推移の状況について把握するとともに、「自然増減」や「社会増減」等の観点から、人口増減の特徴について分析

・さらに、国勢調査結果を用い、「産業別の就業人口の推移」や「年齢ごとの産業分類別人数」等について明示

○ 構成の概要②

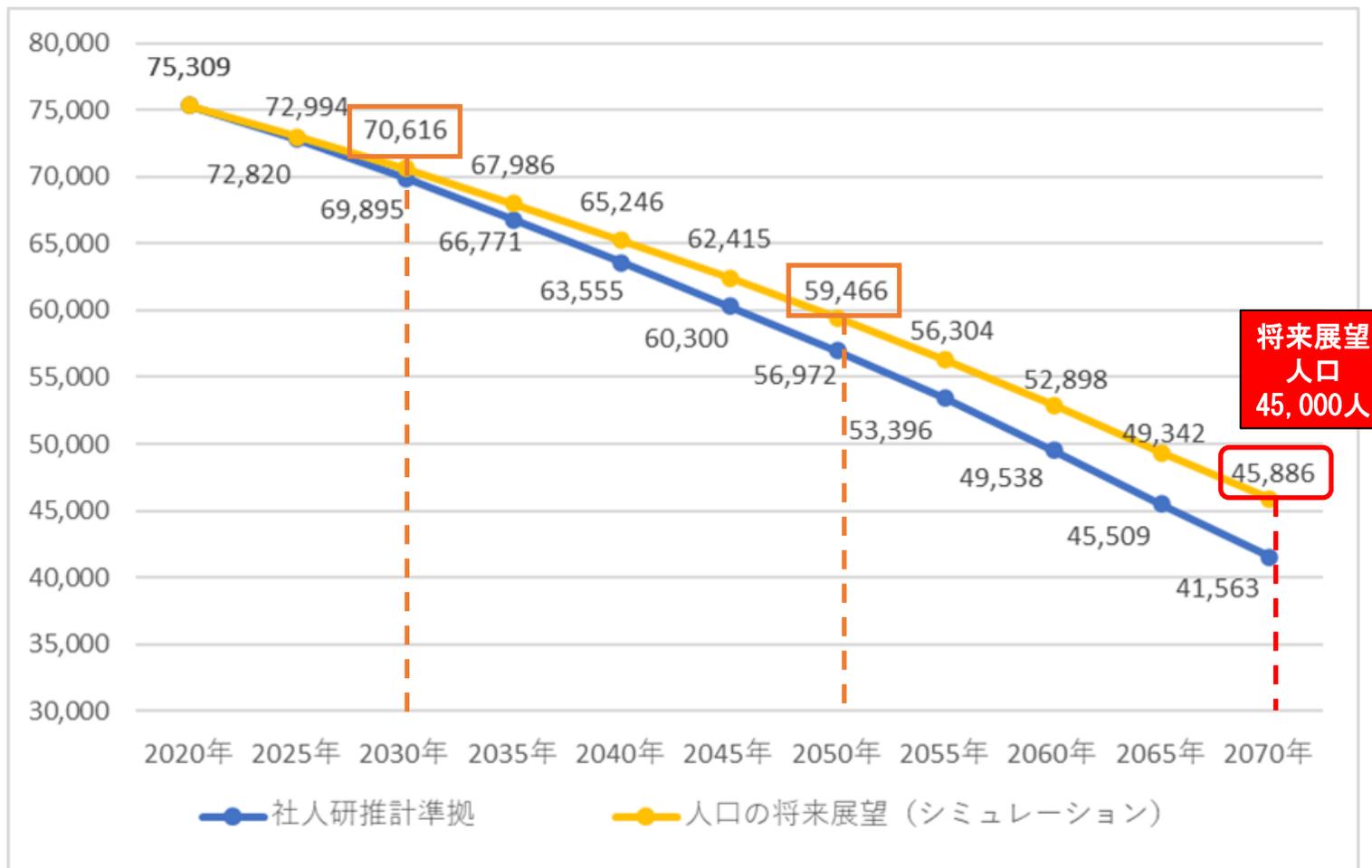
第3章 将来人口推計

- ・国立社会保障・人口問題研究所による将来人口推計を基に、人口減少段階の把握や人口減少が地域社会に与える影響の考察を実施
- ・また、館林市独自の人口シミュレーションに基づき、本市が目指すべき将来の方向や人口の将来展望を明示

・前回会議において、社人研推計に準拠した推計では2070年（令和52年）には人口41,563人となると推計されているところ、「総合計画」や「総合戦略」等に基づく様々な施策を展開することにより、**2070年（令和52年）に人口45,000人を確保**し、将来にわたって持続可能な社会形成を目指すことをお示ししました。

・一方、「**展望期間が長すぎるので短・中期目標も示すべき**」とのご意見もあったことから、前回の市独自人口シミュレーションにおいて、「2070年（令和52年）に人口45,000人」と近似推計となるパターンを人口の将来展望を示すシミュレーションとして用いることとし、短・中期的な目標を設定することとします。

3 人口の将来展望における短・中期目標について (2/2)



【人口の短期目標】
2030年（令和12年）
に人口**70,000人**の確保
を目指します。

【人口の中期目標】
2050年（令和32年）
に人口**59,000人**の確保
を目指します。

《人口の将来展望（シミュレーション）算出の前提条件》

- 合計特殊出生率：2030年に本市において過去10年間で最も高かった数値である1.42を実現し、その後2070年まで1.42を維持
- 純移動率：社人研数値からすべての世代において10%増加